

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	A.S	学部・学科	国際商学部・国際商学科
学年	4年	派遣国	ドイツ
派遣大学	ゲーテ大学		
期間	2021年9月22日～2022年7月28日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / <u>学外の学生寮</u> / アパート / その他 ()					
部屋	<u>個室</u> / 2部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	△ (暖房のみ)	冷蔵庫	○
滞在費	約 (28,000) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (25) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	20,000円	家賃・水道・光熱費
学用品購入費	0円	
交通費	6,000円	Semester チケットという6～7か月分先に払う学生パスがある
交際費	10,000円	外食が高いため一回で2,000円以上使う
その他	0円	

合計

36,000円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

フランクフルト中央駅周辺はとても治安が悪く、ドラッグしてる人や叫んでいる人がいる。夜一人で歩くのは危険。しかし、治安が悪いのはそこだけで寮や大学付近はとても安全。

3. 医療について

(1) 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(11) ヶ月間	保険料	(137,000) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	Techniker Krankenkasse (TK)		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(月額15,000) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 (**フランクフルト**)

フランクフルトはヨーロッパ金融の中心とも呼ばれる街で、高層ビルが沢山そびえたっていて都会である。観光地はあまりないが、国際的なハブ空港として使われているフランクフルト空港があるため、旅行にはとても便利な場所である。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ゲーテ大学	所在地	Senckenberganlage 31 60325 Frankfurt
最寄空港	フランクフルト空港	空港からの距離	5km
空港⇄大学	(地下鉄 (S-Bahn)、路面電車 (Tram)、バス) *移動手段		
学生数	47,334 人(2018/19)	留学生数	7,254 人(2018/19)
学部	Law • Economics and Business • Social Sciences • Educational Sciences • Psychology and Sports Sciences • Protestant Theology • Roman Catholic Theology • Philosophy and History • Linguistics, Cultural Studies & Art • Modern Languages • Geosciences and Geography • Computer Science and Mathematics • Physics • Biochemistry, Chemistry and Pharmacy • Bio Sciences • Medical Sciences *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Economics and Business *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (10)月～(2)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前			Macroeconomics1		
午後	Macroeconomics1 Leadership in the Financial Industry			Macroeconomics1	

② (4)月～(7)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		AkadeMi A			AkadeMi A
午後		AkadeMi A	Public Economics and Finance		

3. 履修内容

科目（和訳）	マクロ経済1		
履修期間	10月中旬～2月中旬	単位数	12
授業内容／形態	マクロの視点から経済のメカニズムを短期、中期、長期で捉える授業。 オンライン（zoom）、教授がスライドを使って進める一斉授業。		

科目（和訳）	金融業界のリーダーシップ論		
履修期間	10月中旬～2月中旬	単位数	5
授業内容／形態	リーダーシップとは何か、について国際的に活躍する企業の方々から学ぶ授業。主に、リーダーシップ交渉や管理スキル、ネットワーキングスキルを学ぶ。 オンライン（zoom）、様々なゲスト講師を呼ぶオムニバス形式の授業。		

科目（和訳）	留学生のためのドイツ語		
履修期間	4月中旬～7月中旬	単位数	9
授業内容／形態	ドイツ語を学ぶ授業。事前にドイツ語レベルを測る placement test という試験を受ける。そうすることで AkadeMi の授業へ登録ができ、A～D まであるクラスの中から自分にあったレベルのクラスを選べる。 対面、ゲームや会話が中心のアクティブラーニング。		

科目（和訳）	公共経済と金融		
履修期間	4月中旬～7月中旬	単位数	5
授業内容／形態	経済における政府の役割について学ぶ授業です。 対面、教授がスライドを使って進める一斉授業。		

【総括】

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

私は10か月の留学を経て、考え方が変わり沢山成長したと感じている。学んだことの一つ目は、努力することの大切さである。努力することが大切なのはずっと周りから言われており知っていたことではあるが、自らそれを経験して心から大切だと感じたのは初めてであった。努力してよかったと思うこともあったが、もっと努力するべきだったと思うこともあった。努力できたことはドイツ語を勉強し続けたことである。正直、ドイツには英語を話すことができる人は沢山いるため、ドイツ語が話せなくても生活に困ることは少ない。しかし、私はドイツに来たからにはドイツ語を習得したいと思っていたため、毎日1時間以上はドイツ語を勉強した。その努力により耳がドイツ語に慣れ聞き取れることが増えた。また、簡単な会話ならドイツ語のできるようになった。もっと努力すべきだったと思うのは、英語を話すことである。英語を流暢に話せるようになるにはもっと英語を使って会話をすべきだったと思う。留学前に比べるととても成長はしているのだが、留学前に思い描いていた留学後の自分とは少し違う。もっとペラペラと英語を話せるようになっているのかと思っていた。その原因は英語を使う機会を増やす努力が足りていなかったからだろう。留学当時の自分は努力しているつもりだったが、今思えばただ都合の良い口実を作って自分を甘やかせていただけだった。もっと英語を話せるようになるためにはさらなる努力が必要だった。これからは自分に厳しくありたい。

二つ目は日本が絶対的存在ではないこと。私は留学前、日本は先進国で安全安心な国、日本製品が一番などと、自分の中で日本が一番な国だと無意識に思っていた。しかし、留学を経てその考えは無知による歪んだ考えだと知った。日本のコロナの対策は海外に比べれば慎重すぎるが故に一部過激であったり、日本の食品に含まれる添加物の量は世界一の多さであったり。海外と比較できたことで固定観念を一つ捨てることができた。

この留学の10か月間は人生の中で最も早く過ぎ去った時間だった。前述した学びのほかに、自分で問題を解決する力や語学力、コミュニケーション力など沢山の力を養うことができた。留学が終わり家族からは「大人の顔立ちになったね」「肝が据わってるね」と言われた。留学では成長のほかに大切な友達も得ることができた。困っているときに助けてくれたり、一緒に楽しい時間を過ごしたりと貴重な思い出ができた。今後もこの交友関係は大切にしていきたいと思う。つらい思いや寂しい思いをすることもあったが、それ以上に多くのものを得ることができたので留学をして心から良かったと感じている。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

私はこの留学で日本にいる外国の方の気持ちが分かるようになった。ドイツは英語が通じるからまだ良いが、日本ではほとんど英語が通じない。私はそんな日本に来る外国の方に優しくしたいと思うようになった。町で困っている人を見かけたら自分から声をかけたい。それは外国の方に限らず日本人でも同じだ。全く新しい環境に来て不安な気持ちが私にはとても分かるし、私はそんな中現地の方に沢山助けてもらったからだ。

また、この留学経験を就職にも活かせると考える。私は現在就職活動中であるため、自分の英語力をアピールして海外でも働ける仕事に就きたい。さらに、今まで培ったドイツ語力をさらに磨いてドイツ語検定2級を取るつもりであるため、就活の上でドイツ語もアピール材料になるであろう。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

・Ginnheimerの学生寮にはネット回線は通っているが、wifiを使うためのルーターがないため、日本からルーターを持参するか、バディに助けを求めようかの方が良い。私はバディに相談したらルーターを譲ってくれたが、バディの皆がそうしてくれるか分からないため不安な方は日本から持参の方が安心である(現地で調達することもできる)。

・ドイツは留学用の海外保険のほかに現地の保険に入ることが義務付けられている。保険であつたら何でも良い訳でもなく、歯科治療と妊娠検査がカバーされている保険に限られていることにも注意しなければならない。私はTechniker Krankenkasse (TK) という「テーカー」と言われる公的保険に入ったが月額115€(15,000円以上)もかかった。知り合いによるともっと安い保険もあるということなので、是非調べてみてほしい。